

ニフ組み立て説明



各車の違い

	ニフ	ハ4	ハ5旧車体
側板	鋼板張り (2番を使う)	鋼板張り (2番を使う)	木造 (1番を使う)
妻板	スジのみ 6. 妻板は表(スジ の多い方)	縦に帯材の貼り付 けあり 6. 妻板は裏(スジ の少ない方)	縦に帯材の貼り付 けあり 6. 妻板は裏(スジ の少ない方)
ステップ	低い	高い	不明
その他	妻板の変化はニフ改造と同時に起きたも のかは不明		詳細な形態が判ら なかったので、一 部想像で作りました

部品表と別購入部品

部品一覧

エッチング板0.4mm		1
屋根(上)		1
屋根(下)		1
真鍮帯板	4.5 × 1.0mm	1
真鍮帯板	2.0 × 1.0mm	1

説明書の写真だけではわかりにくいかと思
います。
制作途中に撮った他の写真を別フォルダーに
入れておきました。未整理で見にくいと思
いますが、ご参考ください。

[こちら](#)

別購入部品表

品名	規格	メーカー	備考
朝顔型カプラー(E)		珊瑚	
古典客車用軸受け	分割、ロスト	珊瑚	
車輪 10.5(プレート)		珊瑚	

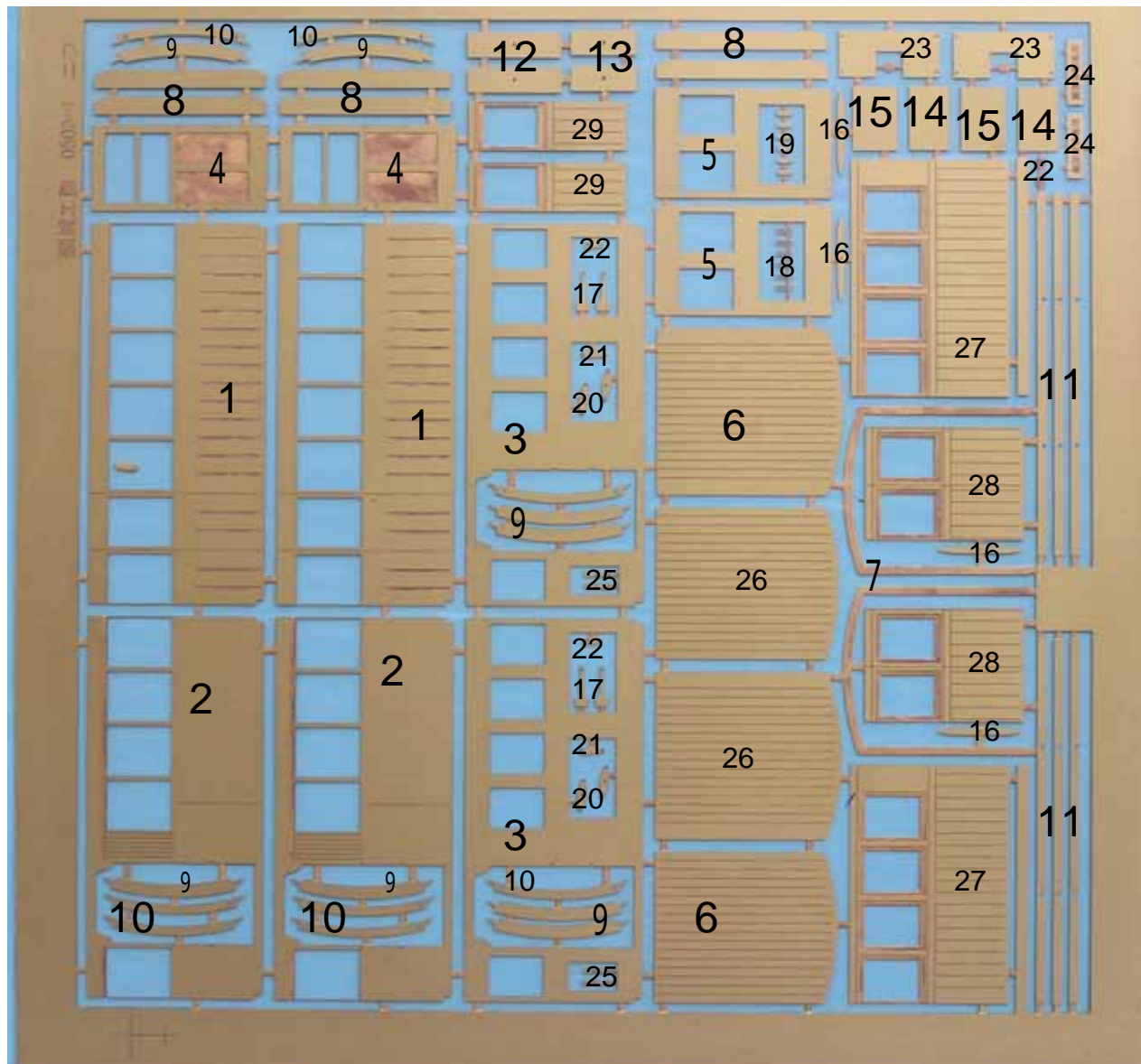
以下は素材ですので、メーカーは問いません

真鍮線	0.5mm	KSなど	
真鍮線	0.7mm	KSなど	
真鍮板	1.0mm		
真鍮板	0.5mm		

真鍮帯板は作る車種によって必要なものが異なります。

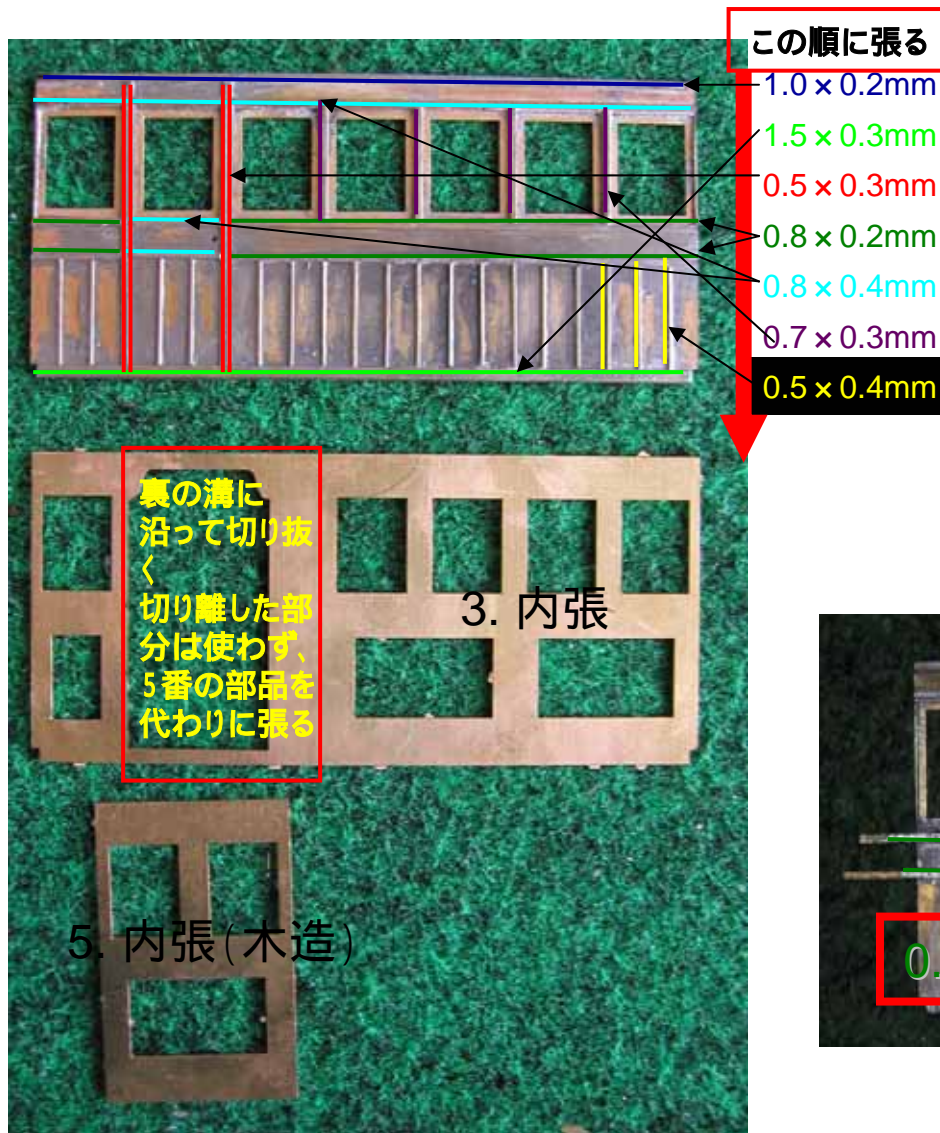
	ハ5(旧車体)	ハ4	ニフ
1.0 × 0.2mm			
1.5 × 0.3mm			
0.5 × 0.3mm			
0.8 × 0.2mm			
0.7 × 0.3mm			
0.5 × 0.4mm			
0.8 × 0.3mm			
1.5 × 0.4mm			
0.5 × 0.2mm			
1.2 × 0.3mm			
0.8 × 0.4mm			

1. 部品の説明(0.4mm厚真鍮板)

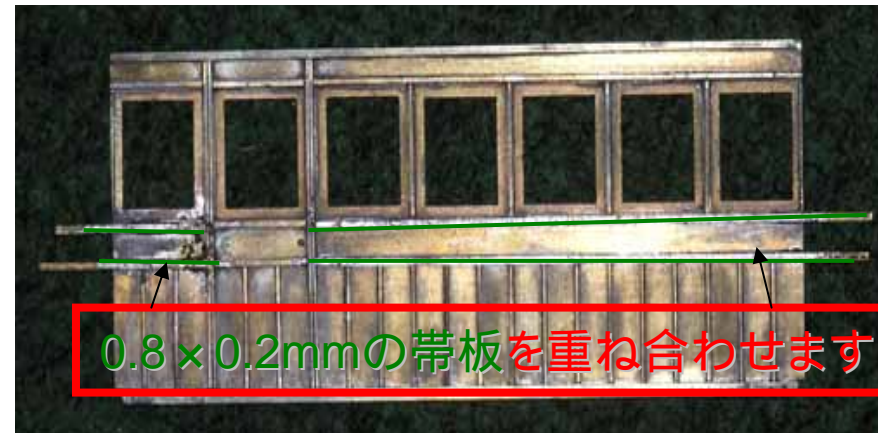


1. 側板(木造)
2. 側板(鋼板張り)
3. 内板
4. ドア
5. 内板(木造)
6. 妻板
7. 妻板枠
8. 端バリ
9. モニタ妻板
10. モニター仕切
11. モニター側板
12. 連結器受け(下)
13. 連結器受け(上)
14. ステップ(ハ4)
15. ステップ(ニフ)
16. ブレーキ梁
17. ブレーキ支え(I字型)
18. ブレーキ部品1
19. ブレーキ部品2
20. ブレーキ部品3
21. ブレーキてこ(大)
22. ブレーキてこ(小)
23. 連結器受け取り付けジグ
24. サボ
25. 標識灯掛け
26. 内張(妻板)
27. 内張(側板1)
28. 内張(側板2)

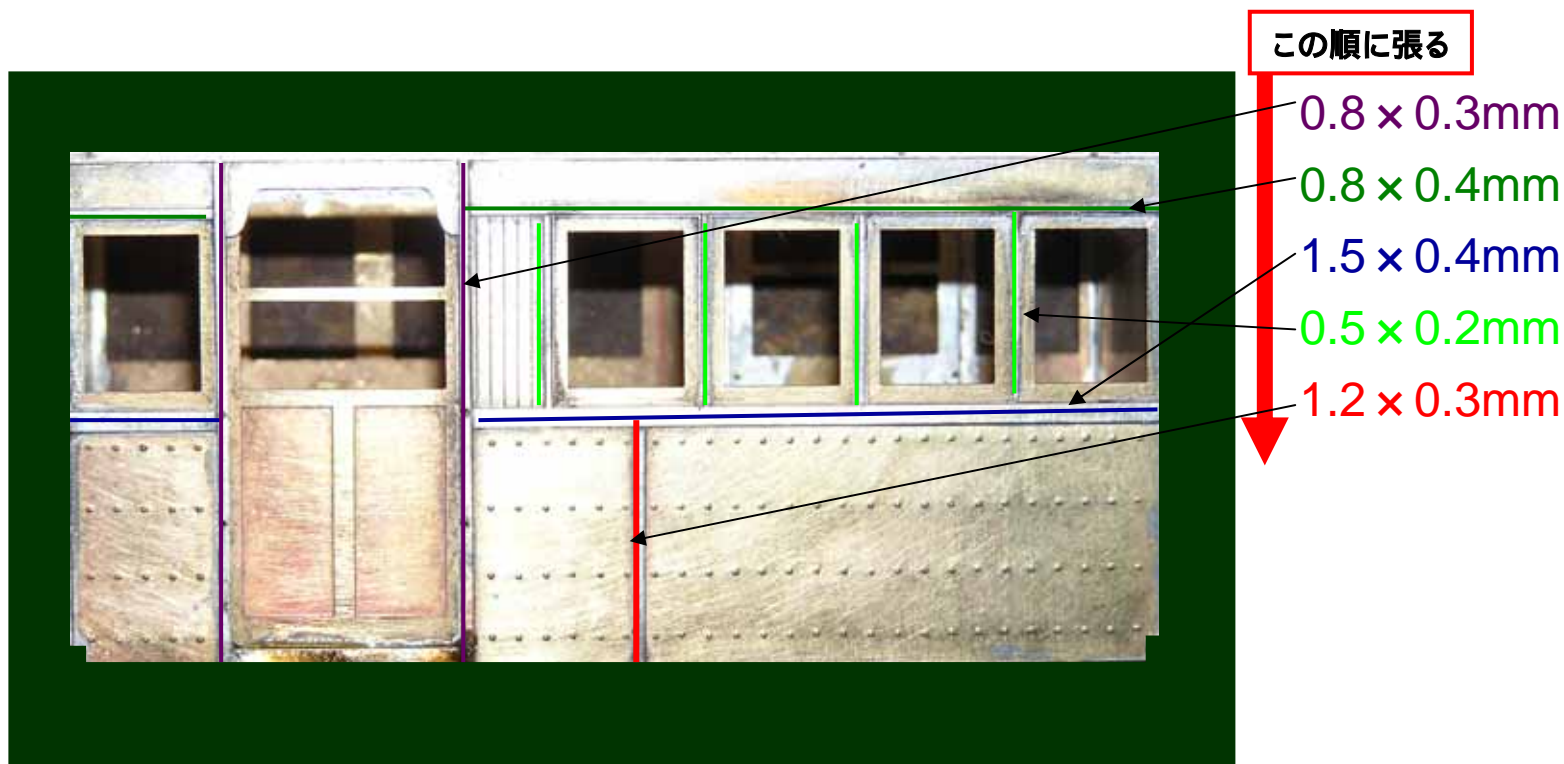
2-1.側板の組み立て(木造) **ハ5の旧車体**



3.内板をドア両脇の溝に沿って切り離し、1.側板(木造)の裏に張ります。切り離れたドア両脇には5.内板(木造)を張ります。
各種帯板を張ります。色別にサイズ示しました。終わったら両脇の出っ張りをきれいに切り取り、窓下の0.8×0.2mmをの上に再度0.8×0.2mmの帯板を重ね合わせ両端を出っ張らせておきます。



2-2.側板の組み立て(鋼板)ニフ、ハ4



2. 側板(鋼板)のリベットを裏からピンで押し出してから3.内板を張り、さらに4. ドアを付けます。
各種帯板を張ります。色別にサイズ示しました。終わったら両脇の出っ張りをきれいに切り取ります。

3.妻板の組み立て

ニフ



- 6. 妻板は表(スジの多い方)を使います。
- 7. 妻板枠を上端と両脇に沿って張ります。

八4,八5旧車体

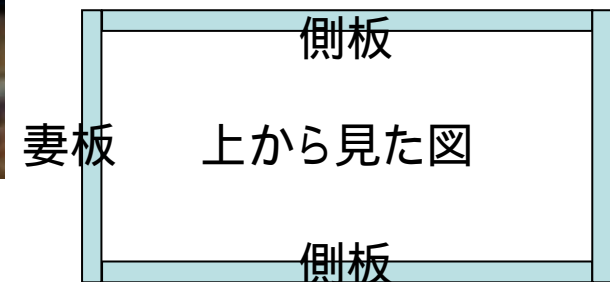


- 6. 妻板は裏(スジの少ない方)を使います。
- 7. 妻板枠を上端と両脇に沿って張ります。エッチングのスジに沿って1.0×0.2mmの真鍮帯板を張ります。帯板が等間隔になるよう、エッチングのスジの右または左側に合わせて付けます。

4-1.車体の組み立て



車体を箱にします。
直角に注意します。
妻板と側板の関係は図
のようになります。
木造の場合は、出っ張っ
ている帯板を妻板に合
わせて曲げ、余計な部
分を切り取ります。(前
ページ参照)



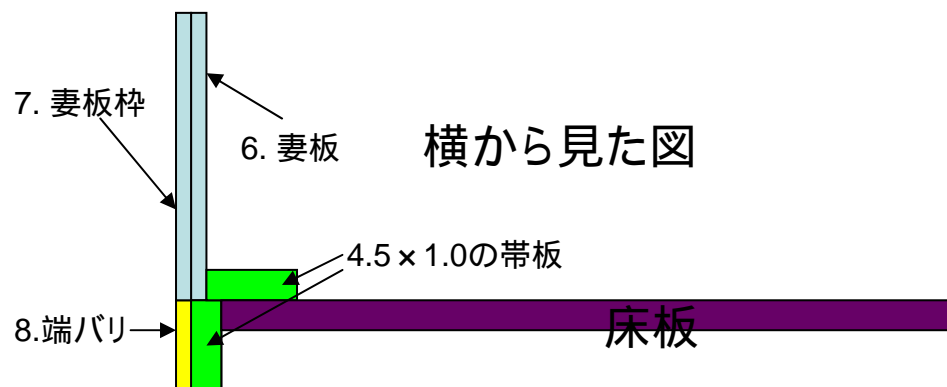
4-2.車体の組み立て



8.端バリのリベットを押し出し、4.5×1.0の帯板に貼り合わせ、エッチング部品に合わせて周囲を削ります。(部品は予備があるので、形のよいものを選んでください。)

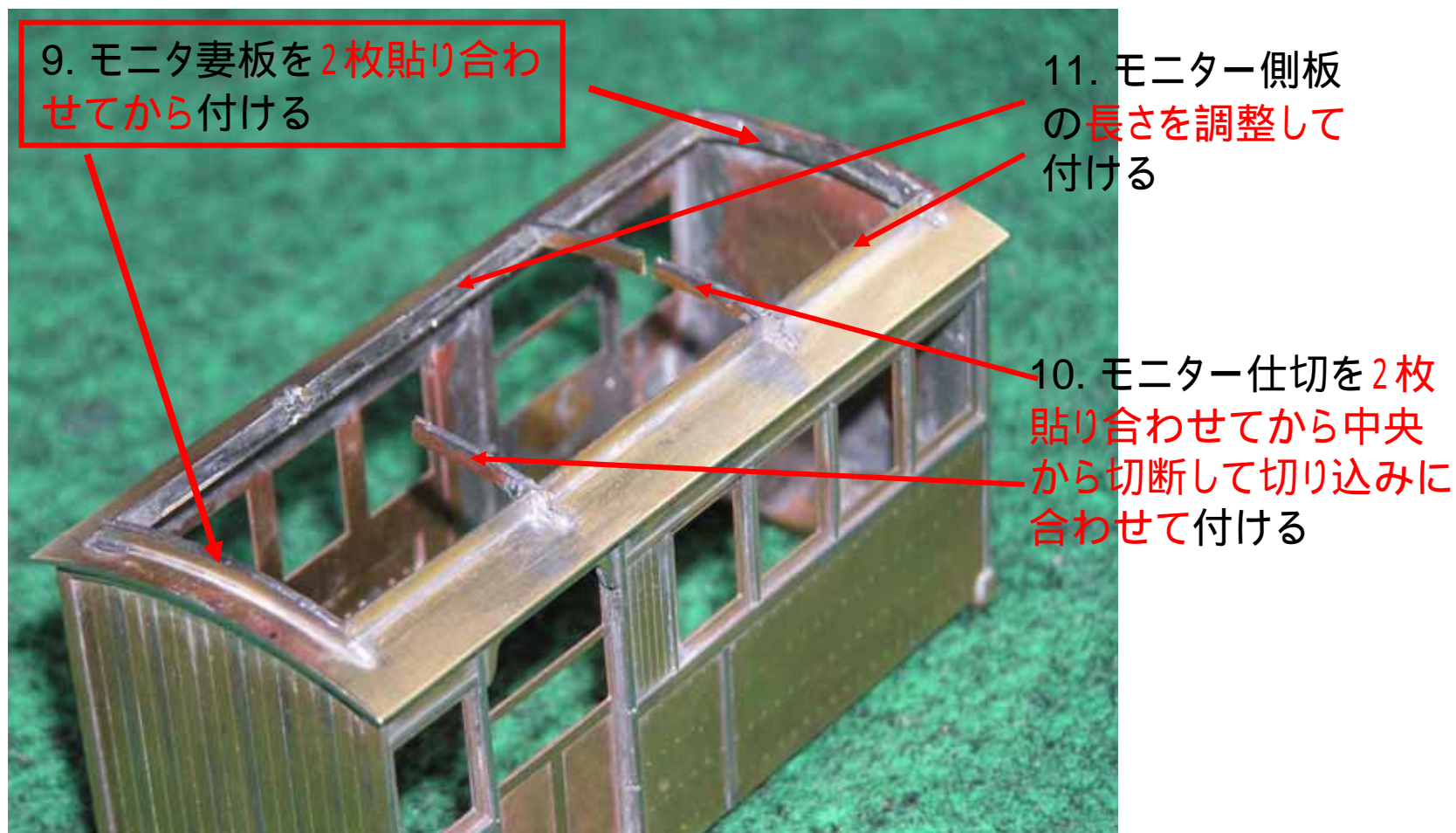


車体にエンドビームと床板止め用の4.5×1.0の帯板を付けます。それぞれの位置関係は下図のようになります。



5. 屋根の取り付け

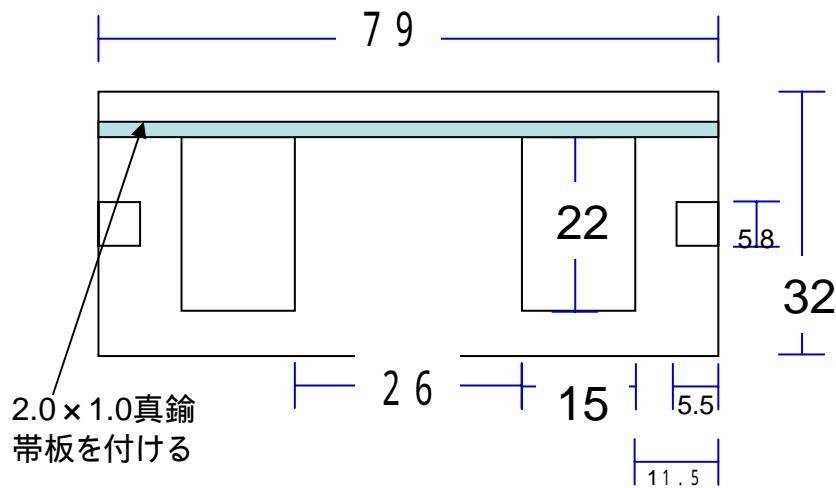
まず、下側の屋根を付けます。



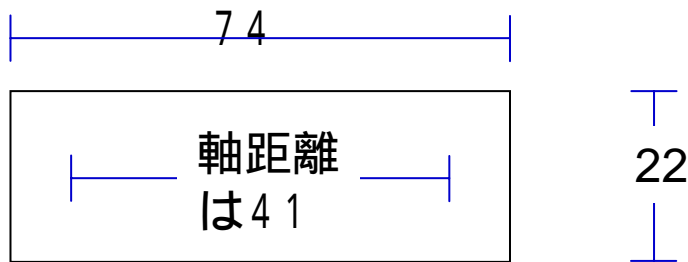
最後に屋根の上を付けます。

6. 台枠の組み立て

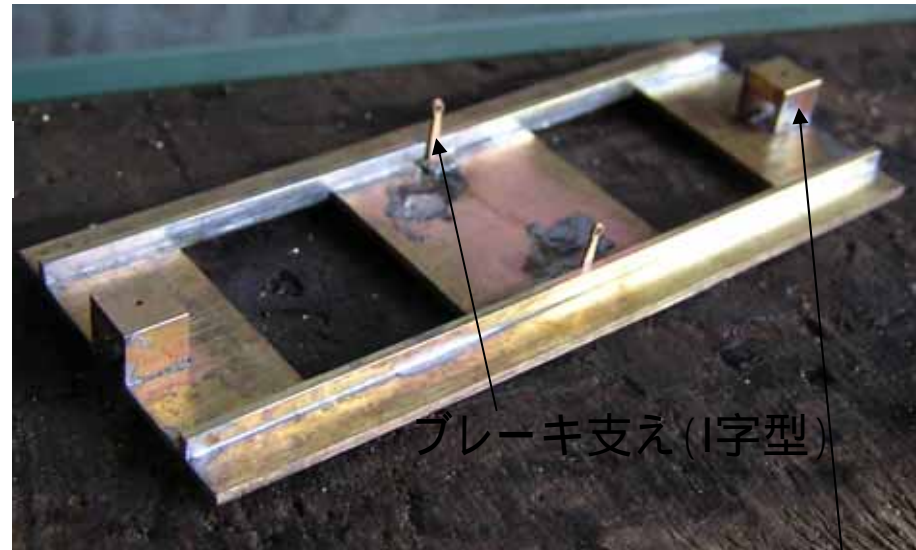
1.0mm厚真鍮板



0.5mm厚真鍮板



左記の寸法で1.0mm、0.5mm厚の真鍮板を切り抜きます。2.0×1.0真鍮帯板を付け、ブレーキ支え、連結器受けを付けます。



連結器受け(下)と連結器受け(上)をコの字型に曲げ合わせます。隙間は1.5mmで、連結器が入ること確認してください。



単位mm

7.床板の製作

床板製作でわかりにくい部分を図示しました。
このほかホルダー内の写真も参考にしてください。

ブレーキ部品2

中心から折り曲げ

手ブレーキ
でこの加工

0.4mm
すき間を
あける

φ0.5mm線

ブレーキ支えの
軸へ

高さはカマ
高をあわせるため
調整する

連結器受け(上)

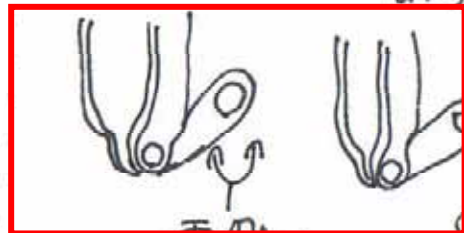
連結器受け(下)

1.5mmあける

φ0.7mm線

ブレーキてこ(小)

図は上下反対になっています

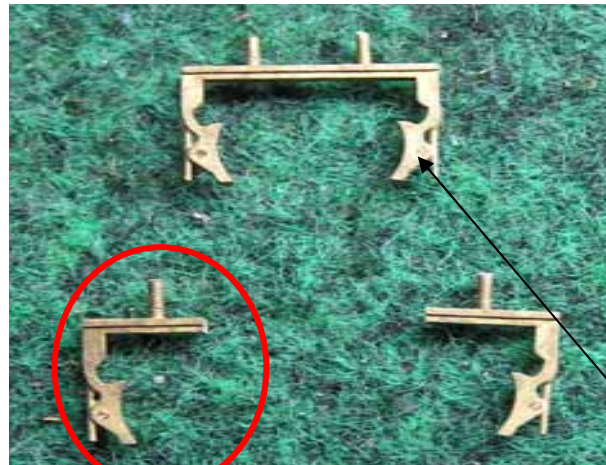


今回は手ブレーキの
てこはつきません。
反対側は2×1の帯
板に付けてください

両側の
ブレーキてこ
0.6mmの穴あけ

8-1. ブレーキの組み立て

ブレーキ部品2



半分に切断



0.5mmの穴を開ける

ブレーキ梁

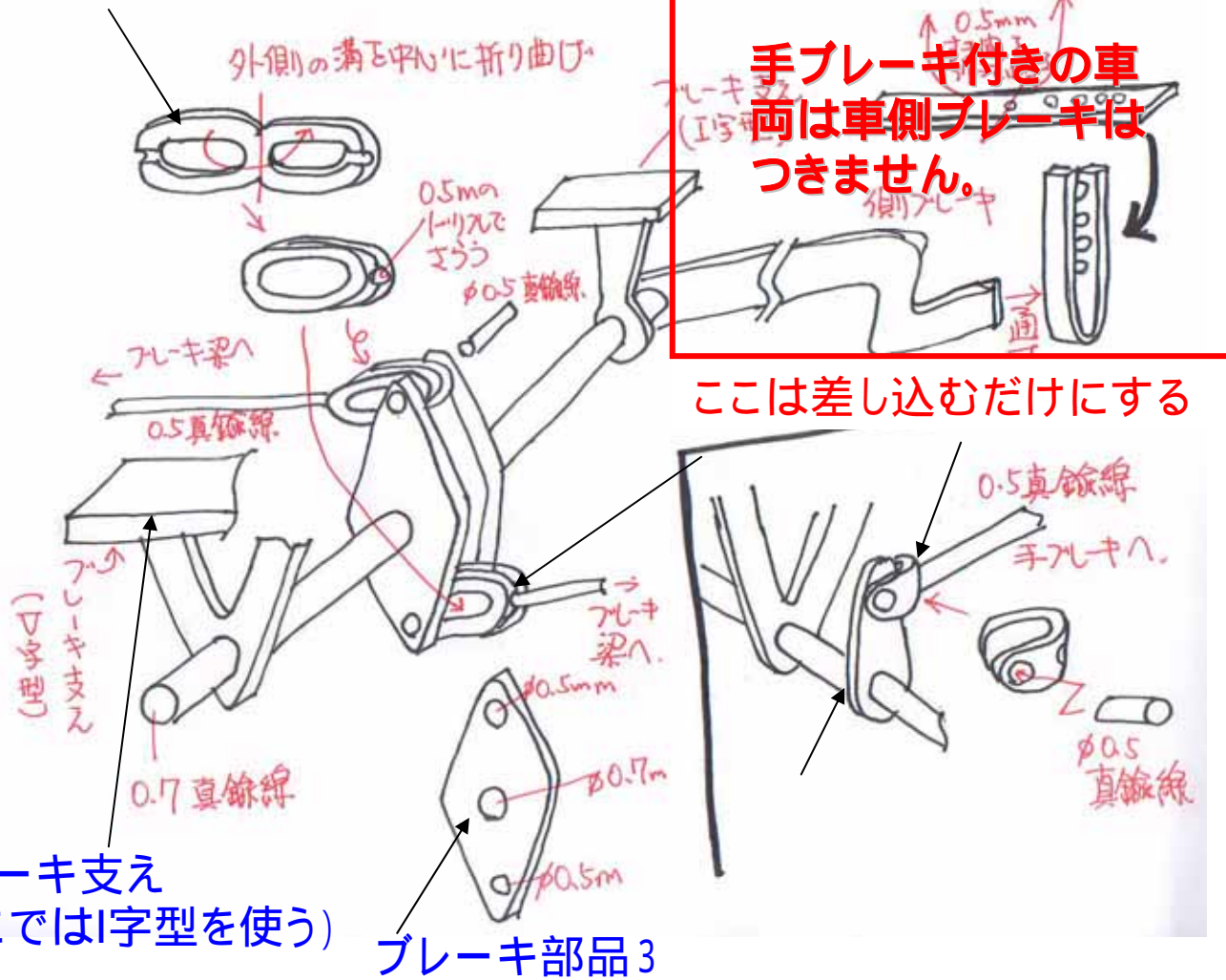


ブレーキ梁

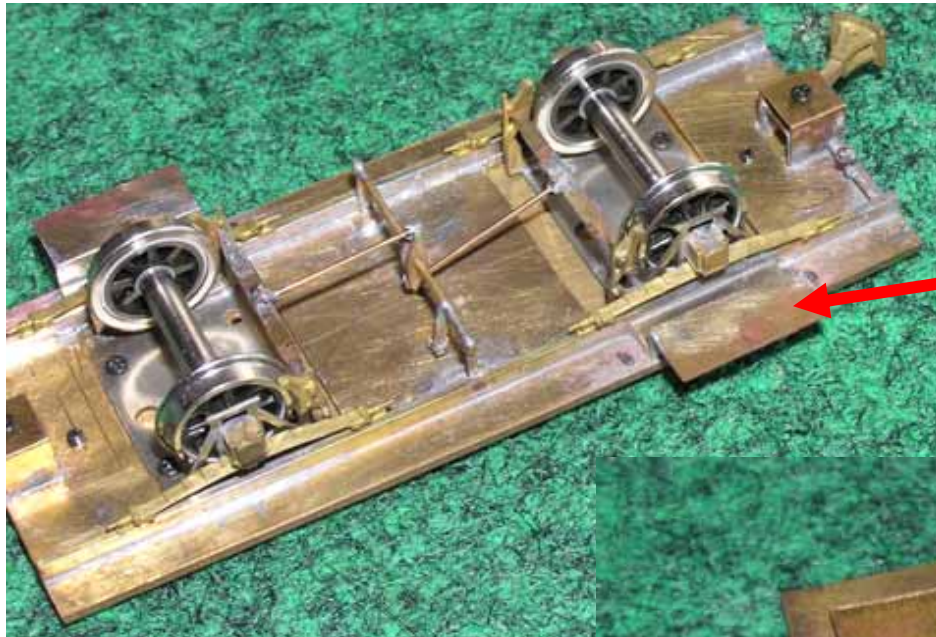
ブレーキ部品2

8-2. ブレーキの組み立て

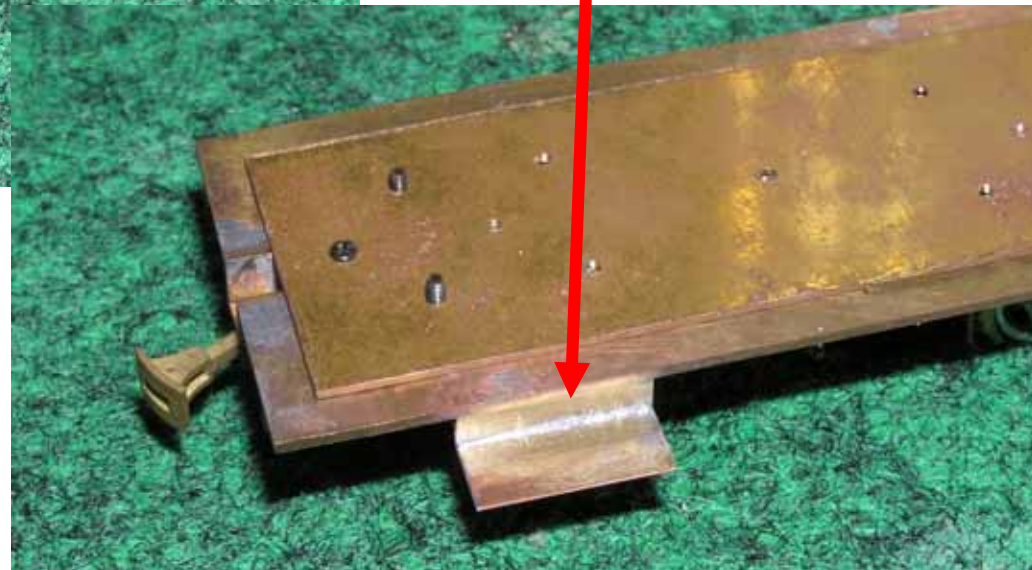
ブレーキ部品1



9. ステップの取り付けと 台枠の完成状態



ステップを取り付けます。
ステップの縦の部分が台枠の縁
に面一になります。
ニフにはNo.15、ハ4にはNo.14
を使います。



完成(ニフ)



手すりと標識灯掛を付けて完成です。実物の手すりは複雑な形をしていますが、作例では簡単に作ってあります。

完成(八五車体振り替え前)

